

SR-S208TC2 V13.03 変更内容一覧

□機能追加

No.	項目	内容
1	無線LAN管理機能改善	1)管理無線LANアクセスポイント(SR-M20AP1)のV2ソフトウェア機能に対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・show nodemanager logging wlanコマンドのIEEE802.11n規格表示対応 ・無線LANチャンネル自動設定のIEEE802.11n規格対応 2)システムログメッセージ追加 以下のイベントについて監視ログだけでなくシステムログメッセージの出力を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・管理機器の消失検知 ・不明無線LANアクセスポイントの初回検知 ・不明無線LANアクセスポイントの消失検知
2	ARP認証機能改善	認証失敗端末に対する通信妨害動作を強化しました。 1)認証失敗保持時間満了直前に再認証を実施することで認証失敗状態を延長することを可能にしました。 2)認証失敗端末に対する通信妨害間隔の設定を1秒から設定可能としました。
3	RADIUS機能改善	IEEE802.1X認証時のAccessRequestパケットにNAS-IP-Addressアトリビュートを追加しました。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V02.00～V13.02	IEEE802.1X認証、Web認証またはMACアドレス認証のいずれかの機能で認証済状態で、装置内etherポートのVLAN構成が変更される構成定義変更が実施されると構成変更となったVLANへ収容された認証端末を含むポートの認証状態が一旦解除される。解除された状態はIEEE802.1X認証およびMACアドレス認証では自動的に再認証されるが、Web認証では再度ログインが必要となる。
2	V02.00～V13.02	IGMPスヌープ機能を有効にして運用中に、装置へのマルチキャストエントリ情報登録処理が失敗した場合、その260秒後にシステムダウンする。この登録失敗事象は発生するとシステムログに次のメッセージが記録される。 ・mstpd: cannot register the multicast group entry [<group addr> (<vlan id>)]
3	V02.00～V13.02	IGMPスヌープ機能を有効にして運用中に、同一グループアドレスとみなすべきIGMP Membership Reportを受信した場合に、別グループと誤判断して装置に重複して登録してしまう場合がある。その結果、重複したエントリの状態によって正常に通信できないことがある。 このとき、show igmpsnoop briefコマンド出力には登録数が2と表示されるが、装置内部の登録は1つである。 ・IGMP snoop briefing information: total registered entries: 2 重複登録されている間は、装置内部にエントリが存在するため通信は正常にできるが、2つ目のエントリが260秒後にタイムアウトにて消去されるタイミングで通信停止となる。 ※なお、clearコマンドによるエントリ消去にて復旧は可能
4	V13.00～V13.02	show nodemanager logging wlan staコマンドにてMACアドレス長を越える文字列を指定するとシステムダウンが発生する場合がある。
5	V13.00～V13.02	無線LAN管理機能にて稼動監視中に、監視装置(本装置)から被監視機器へpingコマンドを実行した場合に“command already running, please wait.”と表示されエラーとなる場合がある。
6	V10.00～V13.02	リンクアグリゲーションを構成するリンクに関するLinkUp/LinkDownトラップに含まれるfOperStatusの値が正しくない。